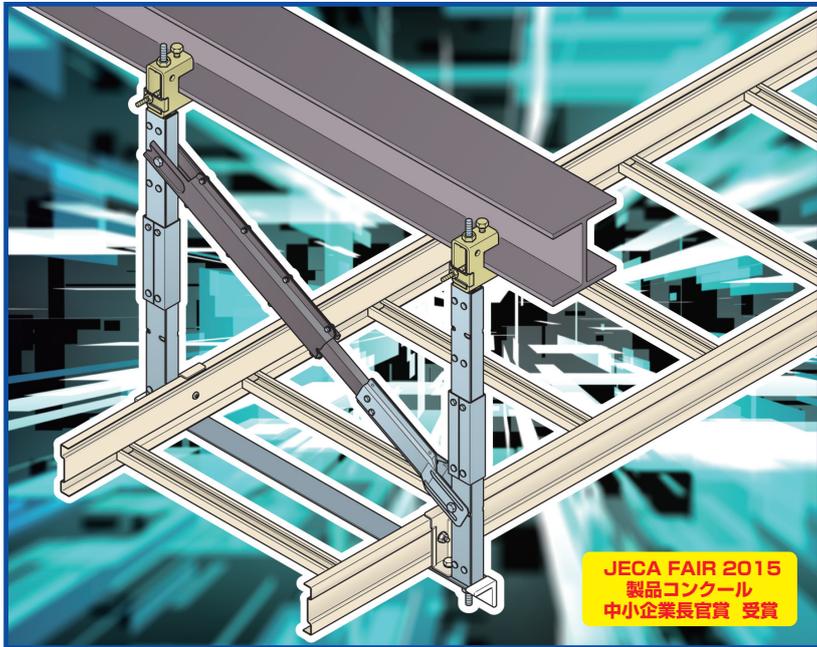
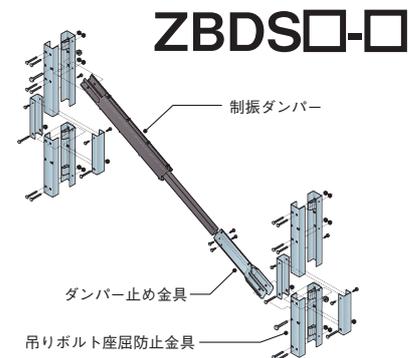


ケーブルラック制振システム



N^{エヌ}SYS

ケーブルラック制振システムは、支持材に斜材として制振ダンパーを設け、地震によるエネルギーを吸収しラックへ加わる地震荷重を緩和し揺れを軽減します。

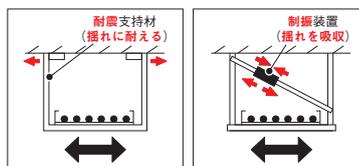


特徴

- ◎地震によって繰り返し加わる水平荷重に対して効果を発揮します。
- ◎耐震支持の性能を有した上で、さらに制振性能を持たせた製品です。
- ◎水平荷重(地震加速度)を最大で40%低減します。(構造解析による)
- ◎既設設備の改修施工でもご利用頂けます。

制振とは・・・?

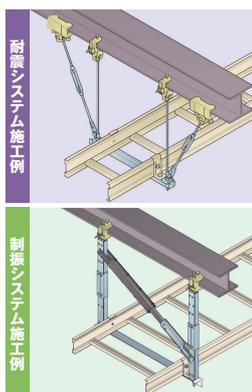
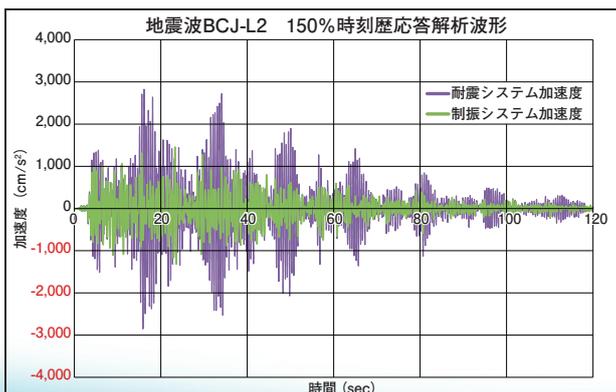
耐震支持は、地震に耐える支持ですが、繰り返し地震を受けると、ダメージが蓄積し破損、落下の危険性が伴います。ケーブルラック制振システムは、これらの問題を解決したもので、長周期地震など繰り返しの地震による被害を軽減し、BCP性能を高める製品です。



建築設備耐震設計・施工指針における「制振」について・・・

ケーブルラックの制振支持について、一般財団法人日本建築センター発行の「建築設備耐震設計・施工指針(2014年版)」に記載はありません。しかしながら、ケーブルラック制振システムは「建築設備耐震設計・施工指針」記載の、耐震支持の性能を確保したうえで、さらに制振性能を持たせた製品です。「建築設備耐震設計・施工指針」は重要度に合わせて、耐震クラスSクラス、Aクラス、Bクラスに対し、SA種、A種、B種の耐震支持の支持間隔を指定し、設定することとなっています。B種耐震支持は仕様(形状)で規定されていますが、SA種・A種は性能(強度)で規定されています。ケーブルラック制振システムは、SA種・A種の耐震性能(耐震強度)を満たすことのできる製品です。

従来の耐震システムと比較し加速度を40%低減できます (構造解析による計算例)



適合

- ケーブルラック **QRタイプ、LRタイプ、DRタイプ**
※スーパーダイヤモンド製(SD-)、ステンレス鋼製(S-)及び組み立て式(QRK)は除く
- 吊りボルト **W1/2**
- 吊り長さ **550~1,100mm**
- ラック幅 **600~1,200mm**
- ケーブル積載質量 **100kg/m以下**
※条件により異なります。